

運転見合わせと振替輸送

松崎 武志

高校生の頃、久留里線を利用して通学していた私は、たびたび『運転見合わせ』に遭遇した。理由は、

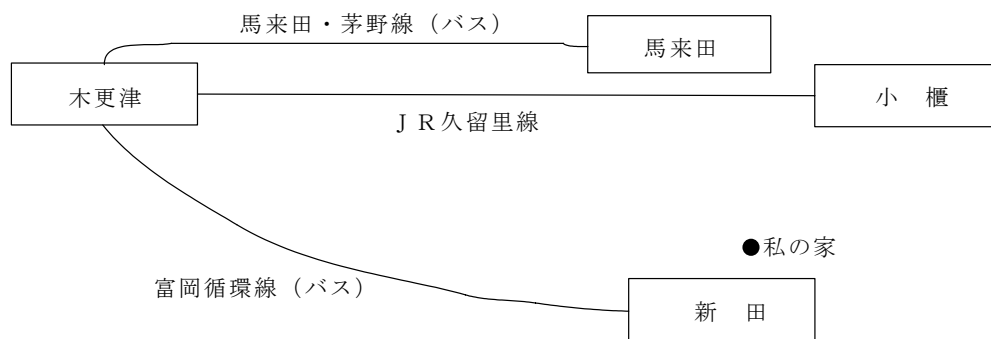
- ①千葉動労のストライキ ②台風による大雨 ③予期せぬ大雪

のいずれかであった。

①に関してはあらかじめわかっているので、その日は久留里線利用者に限り、『公欠』扱いとなった。だが、学校はいつも通り行われているので、公認のお休みという恩恵に預かることはできるのだが、家にいても落ち着かず、結局バスを使って登校したものだ。公欠予定の生徒が登校してきたら、担任の先生はどのように出席簿を処理していたのだろうか、教員の立場になった今、ふと思う。

②と③は悲惨であった。東急東横線沿線に住む今でこそ、電車が不通になっても代替の交通手段はいくらでもあるが、15年前に久留里線の代替となる交通手段は日東交通のバスしか無く、その本数も少なかった。

1991（平成3）年10月11日、関東地方に接近した台風21号の影響で、この日は登校するやいなや、担任の先生から「本日休校」の旨を告げられた。ちょっとのんびりしてから木更津駅に向かうと「久留里線は運転見合わせ」とのアナウンスが流れていた。さほどの危機感もなく、木更津から馬來田まで並走している日東バス「馬來田・茅野」行きへの振替輸送を案内された。バス乗り場に向かうと長蛇の列ができていた。



次のバスは1時間後のため、混雑のままバスは発車した。途中の停留所で乗客が振替乗車券を出して降りようとする、運転手が「これじゃ乗れませんよ」。当然、一部の客と押し問答になった。バスの前の方に座っていた僕は「やっぱりな。そんなうまい話は無いよな」と思いつつ、あっさりとその事実を受け入れ、終点の馬來田駅前で正規料金を支払い下車した。そこからは自宅に電話をし、祖父に軽トラックで迎えに来てもらった。最初から木更津駅まで迎えに来てもらえばよかったのに、とお思いの読者もいらっしゃるだろうが、私の家庭は両親が共働きだったため、祖父に頼るしかなく、当時75才の祖父に大雨の中、長距離の運

転は厳しいと判断したからだ。

それが私の「振替乗車」に対する第一印象である。私鉄やJRが運転を見合わせる際、他の鉄道が実施する振替輸送制度は首都圏ではすでに定着しているが、木更津のような近郊区間末端の地域では当時はまだ浸透していなかった。現在こんなことが首都圏で起こったら暴動になるだろう。バスの車内でも「こんなの絶対おかしいよ。後で（JRに）言おう」というような会話を耳にした。久留里線と並走しているバスがこれほどの混雑になることはめったに無く、その日はかなりの売り上げだったことだろう。

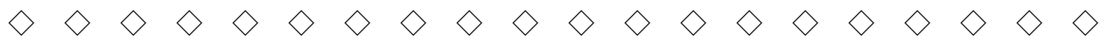
大雪でも久留里線は運転を見合わせた。大雨の時の経験を生かし、今度は木更津から直接私の家の近くまで来る「富岡循環」バスに乗った。大雨の時も、最初からそのバスに乗れば良かったのだが、振替乗車券が効力を発揮するのは「馬来田・茅野」行きのバスだったからで、しかも私の家の近くまで来る「富岡循環」バスは1日に5本しか無かったのだ。

午前中で授業が打ち切りになり、木更津駅東口のバスターミナルから12:55発のバスに乗ろうと考えたのだが、待てどもバスはやってこない。日東バスの運用を研究し尽くしていた私は、12:49に木更津駅に着くバスが12:55発のバスになると知っていたので、そのバスが遅れているのだろうと考えていた。だが、そのバスがなかなか来ない。結局バスがやってきたのは15時前であった。後から考えると、私の待っていたバスは運休になっていたのだろう。だがそれが我々乗客に伝わらず、他の運転手が営業所に連絡して、慌ててバスを運行したのだろう。

数名の客を乗せてバスは出発し、最後の乗客となった私が下車するとき、運転手から「半額でいいですよ」と言われたが、私は全額分を支払った。抗議のつもりだったのだろう。自宅最寄りのバス亭「新田」で降りると、積雪にズボットはまり、太もも位まで埋まった。そのバスは先へ行くことなく、そのままUターンして戻っていった。

高校時代の「運転見合わせ」にまつわる思い出はその程度だが、大学生以降、本格的に鉄道旅行に目覚めた私はその後、幾度となく「運転見合わせ」に見舞われた。その最たるものは、JR全線完乗防衛を果たすべく宮崎空港を目指した時だったが、それを語るには紙幅が足りないので割愛させていただく。

諸事情により運転見合わせが生じるのはやむを得ないことだから、怒りを駅員にぶつけるのはやめるべきである。イライラしているのはあなただけではないと、駅員に詰め寄っている乗客を見かける度に思う。



私は東横線の元住吉駅を利用しているが、今年の9月24日から駅舎が新しくなった。目黒線を日吉まで延伸させるため、武蔵小杉-日吉の線路を高架化したからで、それに伴い移設したのである。

この原稿を書いている時点ではまだ旧駅舎だが、思えば不便な駅であった。横浜方面にし
か出口が無いため、電車が着くとホームから改札口に降りる階段が必ず混雑し、待っている
と次の電車が到着してしまうこともあった。高架化工事が始まってからはホームが狭くなり、
更に混雑した。トイレもこの上なく汚く、工事により仮設となっても汚かった。

どうしようもない駅ではあるが、5年近くも使っていれば愛着は生まれる。ここ数日は駅
舎やホームを、写真やビデオに納めようとする鉄道ファン以外の人々を多く見かける。自分
の最寄り駅が新しく生まれ変わるのは初めての経験であるため、日々完成に近づいていく駅
や線路を見ては胸が高鳴った。トイレと混雑が改善された新しい駅を利用する日々を楽しみ
にしている。